

市民グループ等自主企画申請書
企画内容

記入例

グループ等名	●●●●
種別	研修会(内部向け) ・ 講座(市民向け)
実施形態	対面(会場: ●●●●) ・ オンライン
実施希望時期	令和8年12月上・中下旬頃 午前・午後・夜間
受講予定人数	40人

テーマ	絵本の読み聞かせをとした父親の育児参加
講座の狙い (男女共同参画社会の実現にどのように貢献するか、明確に、分かりやすく記載してください)	令和3年社会生活基本調査によると、6歳未満の子どもがいる夫の家事関連時間は、1週当たり1時間54分です。そのうち、育児時間は1時間5分であり、平成28年と比べて16分増加しています。一方で妻の家事関連時間は7時間28分、育児時間は3時間54分で、男性と比べて長くなっています。その理由としては、子育て世代の男性の長時間労働や根強い性別役割分担意識が残っているためと考えられます。 講座では、父と子で絵本の読み聞かせを体験することで、日常生活でも親子のコミュニケーションをはかるきっかけとします。
講座のまとめ方 (最終的にどのように話をまとめるのか、分かりやすく記載してください。)	絵本の読み聞かせを実演しながら、子供の成長に与える影響や子供と関わることの重要性について伝えます。
対象・定員	子育て中の男性とその子供 20組
講師(名前・肩書)	吹田 デュオ (吹田デュオ 代表)
講座の内容・講師選定理由など	講座では、講師が絵本の読み聞かせを実演しながら、絵本の選び方や楽しみ方、子供の成長に与える効果などについて解説します。受講者には絵本の読み聞かせを体験することで子供とのコミュニケーションを深めてもらい、日常生活でも子育てに関わるきっかけとします。
講座の流れ (次第又はプログラム。簡単なタイムスケジュール含む)	・講師による絵本の読み聞かせの実演(60分) ・絵本以外の子供との遊びの実演(30分) ・父親同士での交流(20分) ・講師によるまとめ(10分)
独自の広報手段 (あれば記入)	SNS